

今こそ見直す、情報漏えい対策! ～さらなる対策強化に向けて～

ごあいさつ

この度、掲題セミナーを開催させていただき運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

個人情報や機密情報の漏えい事故や事件は後を絶たず、その影響は社会的な信用の失墜にもつながります。情報漏えい事故は管理ミスやヒューマンエラーに起因するものが多く、スマートデバイスの活用が進む昨今では、利用するデバイスに合わせて正しく管理できる対策が求められています。また、内部不正に向けた対策強化も必要です。

スマートデバイスへの 情報持ち出し対策

スマートデバイス対策は通常の
USBメモリ対策では不十分です

内部犯行防止

内部犯行者はシステム管理者の
権限を悪用します

内部犯行発見

膨大なログを収集・整形・分析
することで不正の発見を効率化
できます

本セミナーでは、エンドポイントのデバイスに合わせた持出・パッチ管理による対策から、サーバのアクセス・操作制御、監査ログ管理による対策について、それぞれのポイントを事例やデモンストレーションを交えて具体的にご紹介します。この機会に貴社の情報漏えい対策を今一度見直してみませんか？

ご多忙中とは存じますが、ぜひともご参加賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

このような方に最適なセミナーです

社内ICTシステムのセキュリティに対する専任の運用部門、またはセキュリティ運用も兼務している情報システム部門で、以下の悩みをお持ちの方

- 情報漏えい対策の見直しや強化をしたい

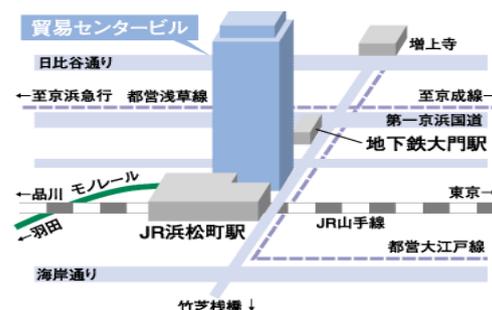
開催概要

- 日時 : 2014年10月1日(水) 14:30~16:30 (受付 14:10~)
- 会場 : 富士通トラステッド・クラウド・スクエア
東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル 30階(受付)

【交通アクセス】

- JR/モノレール「浜松町駅」より2階コンコースで直結
東京駅から6分
羽田空港から22分
- 都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門駅」より地下1階で直結(B3出口)
浅草から15分
新宿から15分

- 定員 : 会場 30名
Web 30名 (ご来場が難しいお客様へ会場からLive配信しますので、Webでご受講いただけます)
※定員になり次第締め切らせていただきます。



カリキュラム

14 : 30～14 : 35

ご挨拶

14 : 35～14 : 55

今、求められる情報漏えい対策について

企業・組織が直面している情報漏えい事故の状況から、情報漏えい対策の見直しポイントとして、ヒューマンエラーの撲滅と不正操作の早期検出についてご紹介します。

14 : 55～15 : 25

人と情報の接点を守るエンドポイントでのセキュリティ運用

情報漏えい事故現場とサイバー攻撃の初期潜入先であるエンドポイント（PC、スマートデバイス）におけるセキュリティ運用（持出・パッチ管理等）について、事例を交えて具体的にご紹介します。特に、持出管理についてはデモンストレーションでお見せいたします。

15 : 35～15 : 55

業務データを守るサーバのセキュリティ運用

業務で利用しているサーバをセキュリティ事故から守るために必要な対策（サーバのアクセス・操作制御、監査ログ管理等）について、事例を交えて具体的にご紹介します。

15 : 55～16 : 05

サイバー攻撃からの情報漏えいを防ぐ

情報漏えい対策をすることでサイバー攻撃への対策にも役立つことをご紹介します。

16 : 05～16 : 30

質疑応答、個別相談会

※事情により、カリキュラムの詳細は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

お申込み方法

会場、Webとも、お申込みはこちらから！（定員：それぞれ先着30名）

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/2634>

※同業他社様の参加をお断りさせていただく場合がありますことを予めご了承ください。

お問い合わせ

お問い合わせ先：富士通株式会社 統合商品戦略本部 ミドルウェアプロモーション部
〒144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25 富士通ソリューションスクエア
E-mail: contact-mwsemi@cs.jp.fujitsu.com